

みつぎ便り

127号
4月号

板橋区役所みどりと公園課の花づくりグループと
エコポリスセンターの環境観察員地域自主活動グループに
所属しているボランティア団体「見次の会」です

平成29年4月1日 <http://itbs-ecopo.jp/projects/environsurvey/2013/000253.htm>



フキノトウ

桃の節句が終わると、日当りの良い土手等の雪が溶けた地面から、柔らかい薄緑色の頭を持ち上げて来る『フキノトウ』。いち早く春の訪れを知らせてくれます。

この『フキノトウ』は雌雄異花で、雄花は中心の花がまとまった形で、少し黄色っぽい色をしています。雌花は、中心の花がいびつな形で、白色をしています。春の山菜の代表格で、天婦羅やフキ味噌にして、春のほろ苦さを楽しむことができます。

長く伸びた茎は『ふき』として、煮物やお浸しなど身近な食材となっています。

でも、大きくなりすぎた茎は固いものが多く、いわゆる『とうが立って』います。最近栽培種が多く、食べ易いけれども、懐かしさに欠けるような気がします。

見次公園の南側交差点の入口右側のビヨウヤナギの傍に一本だけ、フキノトウを見つけました。周りにふきの葉は多少あるのですが、フキノトウはこれしか見つけられませんでした。来年はもっとたくさんフキノトウが、顔を出してくれると嬉しいのですが…。楽しみにして、待ちましょう。

(静)

ナズナ(ペンペン草)

見次公園のいたる所に自生している草花で、春から初夏にかけて白く小さな淡い花を咲かせています。

アブラナ科ナズナ属の植物で春の七草の一つでもあります。私には貧乏草やペンペン草の呼び名のほうがピンとききます。家の庭に生えると貧乏になる



との迷信から草むしりの標的となっていたからです。

ペンペン草の名前の由来は実の形が、三味線の撥の形に似ているからだそうで、三味線の音色のペンペンからで、貧乏とは直接の関係は無いようです。

ちなみに西洋では羊飼いの財布の形に似ているため「羊飼いの財布」と言う英語名が付いているそうです。

ナズナの花言葉は「あなたに私のすべてを捧げます」だそうです。とても、ロマンティックですね。

(安)